

5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画】

不測の事態により長期化】

一定の治水効果を確保するためには、1,580mの河川改修が必要になるため元々長期計画だった。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・ H19の出水を契機に計画流量や計画規模を見直し、実績降雨に基づいた事業計画の変更を実施している。
- ・ 事業計画の見直しにより、全体事業費を約4億円縮減する。
- ・ 河川改修を行い、洪水による浸水被害を軽減することを目的としている。
- ・ 洪水による家屋の浸水被害が度々発生し、避難勧告も発令されているため、改修の必要性は非常に高い。
- ・ 現在、延長ベースで約50%まで進捗しており、事業を継続して、地区全体の治水安全度の早期確保を図りたい。